

子育て情報まとめた子育て支援マップの作成、親子が気軽に交流を図り、育児相談の場となる集いの場所事業、子供の遊び場、親同士の交流や相談の場としての子育て支援センター事業を検討していきたいと考えています。

問 横芝光町では、乳幼児児童の医療費助成を、小学校六年生まで拡大すること。
若い方が匝瑳市に結集できるような、大きなインパクトを与えることになると思うが、その実行に対する検討を求めたいが。

答 乳幼児医療制度の拡大ですが、財政状況等を見ながら、制度の拡大について調査、研究をしていきたいと考えます。

問 市民病院の平成十八年度の経営状況については。
答 国の医療制度改革によるところの医療費の抑制問題、患者負担の増加に加えまして恒常的な医師の不足が続き、経営状態は引き続き厳しい状況下に置かれています。

患者利用状況については、四月から七月までの四ヵ月の実績は、外来患者数三万六百四十七人で前年同期比で四・七パーセント、千五百二十六人の減、入院患者数一万二千九百二十一人、病床の利用率は六十七・五パーセントで前年同期比六・一パーセント、八百四十三名の減となっています。

この間の収支の状況は、前年同期比三千百三十一万九千円のマイナスです。

今後とも患者さんやご家族の要望に的確に対応できるよう開業医や関連施設、旭中央病院との連携を強化することなどにより、利用率の向上に努めています。

問 東総地域医療連携協議会のその後の状況及び展望については。

答 東総地区の四つの自治体病院の課題ですが、旭中央病院を除く匝瑳市民病院、銚子市立病院、東庄病院は恒常的な医師不足によりまして患者が大幅に減少しまして赤字を強いられているところです。協議会の最終目標につきましては、一般行政から分離し独立の採算を原則とした一部



▲匝瑳市介護老人保健施設「そうさぬくもりの郷」

ページに募集の掲載を希望しています。この運営方針と将来計画、地域の中核病院といいます。その他の医療的関係からも、医療者の皆様方の満足感を得られる病院を目指すつの方針があります。これを継続しています。

検討委員会提言書においていますように、病院経営基盤の安定との目的は、住民に安心感を提供することでの大きな問題であります。医療サービスを提供が大切でありますので、医師の不足、施設の何とか改善しなくてはないと考えています。

護老人保健施設「そよぎの郷」について、負担軽減、運営体制針については、さぬくもりの郷の使

きましては、個室の二千五百円、二人部屋については千五百円ということで、通常の四人部屋以外のものについては、そういう室料をお願いしていくますが、実際は、個人部屋の利用あるいは二入所者から室料をいただかないというような措置もして

まちづくりビジョンについて

教育問題について